

# 令和7年度 事業報告

本会は、スポーツを普及、振興し、県民のウェルビーイング向上とスポーツ精神の高揚を図り、明朗快活なスポーツ文化の進展に寄与するため、スポーツを楽しむ環境の充実として、県民スポーツ機会の創出事業等を実施した。また、ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックでは、本県ゆかりの選手が2名出場し、県民へ勇気と感動を与えた。こういった全国や世界で活躍する選手を育成するため、さらなる競技力向上に向け、各種強化推進事業を実施した。さらに、管理施設においては、効率的な運営また、地域が抱えるスポーツ環境の課題解決のための事業等に取り組み、地域との連携によるサービスの向上に努めた。

その他、各種活動を加盟団体はじめ関係機関・団体等との連携・協働を図りながら、積極的・効果的に推進した。

## I 法人運営

### 1. 諸会議等の開催

事業の適時適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名	回数	期 日	主な審議内容	
役員会等	評議員選定委員会	1回	令和7年6月2日（月）：書面審議	評議員の選任
	評議員会	1回	令和7年6月16日（月）	事業報告・決算 役員選任
		2回	令和7年9月30日（火）：書面審議	役員選任
		3回	令和8年3月31日（火）：書面審議	役員選任
	理事会	1回	令和7年4月1日（火）：書面審議	代表理事の選定
		2回	令和7年5月28日（水）	事業報告・決算 役員・評議員の推薦ほか
		3回	令和7年9月29日（月）：書面審議	役員推薦ほか
4回		令和7年10月1日（水）：書面審議	代表理事の選定	
5回		令和7年11月12日（水）	表彰者選考	
6回	令和8年3月25日（水）	事業計画・予算 諸規程の改正		
7回	令和8年3月30日（月）：書面審議	役員推薦ほか		

専 門 委 員 会	総務委員会	1回	令和7年5月28日(水)	事業報告・決算 役員・評議員の推薦ほか
		2回	令和7年11月12日(水)	表彰者選考
		3回	令和8年3月25日(水)	事業計画・予算 諸規程の改正
	普及委員会	1回	令和7年11月5日(水)	スポ協 TOYAMA 普及振興事業
	強化委員会	1回	令和7年4月14日(月)	強化事業について
		2回	令和7年8月5日(火)	次世代トップアスリート 支援について
		3回	令和8年1月21日(水)	未来のアスリート 21期生2次選考
	スポーツ医・ 科学委員会	1回	令和8年3月18日(水)	事業報告・事業計画
	倫理・コンプライアンス 委員会	1回	令和8年3月25日(水)：書面審議	ガバナンスコードの遵守状況
	特 別 委 員 会	国民スポーツ 大会出場選手 選考委員会	1回	令和7年8月5日(火)
2回			令和7年8月27日(水)	
3回			令和7年12月18日(木)	
4回			令和8年1月21日(水)	

## 2. 各種スポーツ関係団体の功労者及び優秀選手等の表彰

永年にわたり本県のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著と認められた者や本県のスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体及び個人を令和7年12月10日(水)に表彰した。

種 類	受賞者・受賞団体数	
	特別表彰	個人 30 名
国スポ表彰	個人 10 名	団体 6 団体
感 謝 状	個人 25 名	—
計	個人 65 名	団体 10 団体

### 3. 組織運営の健全性の確保

顧問弁護士及び顧問税理士から日常的に専門的な指導を受けコンプライアンスの徹底とリスク管理を強化し、健全な組織運営に努めた。

さらに、顧問弁護士による加盟団体を対象とした無料法律相談会を、競技団体の経理については、より適正に事務処理を行うための顧問税理士による会計諸帳簿（現金出納簿や領収書等）検査を実施し、改善を要する事項等について個別に指導した。

#### (1) 顧問弁護士による無料法律相談会

期 日	実績数
令和7年6月13日（金）	—
令和7年9月12日（金）	2団体
令和7年12月12日（金）	—
令和8年3月6日（金）	2団体

#### (2) 顧問税理士による会計諸帳簿検査

期 日	対象団体
令和7年11月5日（水）	テニス協会、サッカー協会、自転車競技連盟
令和7年11月6日（木）	ハンドボール協会、フェンシング協会、柔道連盟
令和7年11月7日（金）	ライフル射撃協会、ラグビーフットボール協会、アーチェリー協会、なぎなた連盟

### 4. スポーツガバナンスコード遵守状況

日本スポーツ協会が定めるスポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉の適合状況13原則38項目（令和7年度分）について、自己説明を令和8年3月30日（月）に公表した。

## II 公益目的事業

### 1. スポーツ普及振興事業

県民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、健康レベル・体力レベルに応じた事業を展開した。各事業の実施については、専門性を有する理事等による専門委員会及び特別委員会を構成し、意見等を反映しながら、各分野の資格を有する当協会の職員が中心となって各事業を企画・立案し、関係団体と連携を図りながら事業を行った。なお、指導者のスポーツ指導における暴力の根絶に向け、本協会が実施する各種研修会等あらゆる機会を通して、周知徹底を図った。

#### (1) 県民のスポーツ振興及び広報啓発事業

##### ① スポーツに関する広報啓発事業

各種イベントや行事予定など、スポーツに関する情報を広く県民に周知するために、次の

広報誌等を作成するとともに、誰もが必要な情報等を簡単に検索できるよう、親しみやすいホームページの充実を図った。

ア. 広報誌の発行

名称	発行部数	配布先	発行回数	発行元
スポ協 TOYAMA	2,000 部/回	加盟団体、市町村教委、アスリート卒業生 ほか	年 1 回	県スポーツ協会
スポーツパレス便り	2,000 部/回	市町村関係団体、県立学校 ほか	11 回	県総合体育センター
ジムワールド	1,400 部/回	県立学校、近隣企業ほか	4 回	県西部体育センター
HEALTH SWIM in TAKAOKA	1,800 部/回	県立学校、近隣企業ほか	4 回	県高岡総合プール
スポーツリーダーとやま	1,100 部/回	公認スポーツ指導者、加盟団体、市町村教委ほか	1 回	県公認スポーツ指導者協議会

イ. インターネットを利用した情報発信

各種スポーツ情報ネットワークの中核として、機能の充実を図った。

(ア) 本会HP上での各種スポーツ情報の発信

(イ) 地域スポーツ団体やスポーツ指導者パスネットとやまの情報発信

(ウ) メールを利用したスポーツに関する情報（JISS や日本スポーツ協会等）の発信

(エ) SNS（Instagram、LINE 等）を活用し、リアルタイムな情報の発信

(オ) 上記（ア）～（エ）と、スポーツ情報ネットワーク《県委託事業：県総合体育センター》を活用し、本県の各種スポーツ情報の充実を図った。

② エンジョイスportsサポート事業

地域住民の誰もが参加できるスポーツ活動に対し助成を行い、スポーツに対する興味・関心を高めるとともにスポーツ人口の拡大を図った。

実施市町村	実施事業	参加者数
富山市ほか 計 10 市町村	野球教室&いのちの教室ほか 計 14 事業	5,900 名

③ 生涯スポーツ推進事業

県民が生涯にわたり、明るく豊かで、活力ある生活を営むために、それぞれの興味、関心、適性等に応じてスポーツを生活の中に位置づけ、主体的にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくりの推進を図った。

ア. 巡回指導・視察 NPO 法人おおしまスポーツクラブほか 計 8 クラブ

イ. 研修会の開催

## (ア) 地域スポーツ指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和7年7月13日 (日)	県総合体育センター 澤 聡美 氏 富山大学学術研究部教育学系 准教授 実技・講義 「あそびの中で育つ生きる力 ～こどもが輝く運動あそびと地域の役割～」	20名
	県総合体育センター 太田 芽久美 氏 一般社団法人体力メンテナンス協会 実技・講義 「自分と向き合う ～体力メンテナンスを通して～」	12名

## (イ) 地域スポーツスキルアップ研修会 ※富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と共同開催

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和7年9月12日 (金)	新湊アイシン軽金属スポーツセンター 名川 絢花 氏 株式会社ワールドリー・デザイン 講演 「広報活動の効果UPへ ～写真・動画編～」	23名
令和7年10月20日 (月)	県総合体育センター 明石 あおい 氏 株式会社ワールドリー・デザイン 代表取締役 講演 「広報活動の効果UPへ ～SNS・紙媒体編～」	29名
令和8年2月23日 (月・祝)	県総合体育センター 安岡 由恵 氏 公益財団法人日本パラスポーツ協会 講演 「スポーツを通じたインクルーシブな 社会の実現とは？」	4名

## (ウ) 日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー養成講習会

期 日	会場・講師・内容	修了者数
令和7年11月22日(土) ～11月23日(日・祝)	県総合体育センター 神野 賢治 氏 富山大学 准教授ほか 計5名 講義 「地域スポーツクラブとは」 「クラブの作り方・運営」 「地域スポーツクラブの現状」	10名

ウ. スポーツ指導者パスネットとやまの運用

「スポーツ指導者パスネットとやま」登録者情報を更新するとともに、指導依頼の問い合わせ（照会）に関する連絡を行った。

エ. 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度登録審査委員会

令和8年2月17日（火）に令和8年度登録について書面審議し、登録28クラブ、登録準備段階である準登録4クラブを承認した。

(2) 県民スポーツ大会開催事業

広く県下にスポーツを普及・振興し、県民の健康と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の創造に寄与するため、次のとおり開催した。

① 第78回富山県民スポーツ大会（夏季競技）

季	競技	期 日（中心会期）	会 場	参加者数
夏季	陸上競技ほか 計42競技	令和7年7月26日（土） ～7月27日（日）	富山市ほか 計10市3町	19,983名

② 第79回富山県民スポーツ大会（冬季競技）

季	競技	期 日	会 場	参加者数
冬季	スケート競技ほか 計3競技	令和7年10月24日（金） ～令和8年3月22日（日）	富山市 南砺市 長野県1市	552名

(3) スポーツ指導者の養成

① スポーツ指導員養成講習会開催事業

県民のスポーツニーズが多様化する中で、専門性をもった指導員の養成が望まれているところであり、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の資格取得講習会を開催した。

ア. 日本スポーツ協会公認指導者養成講習会

期 日	資格名	競技名	会 場	参加者数
令和7年8月13日（水） ～令和8年1月18日（日）	コーチ1	バレーボール ほか 計4競技	県総合体育センターほか 計5会場	69名

イ. 富山県公認スポーツ指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和7年12月14日(日)	アイザック小杉文化ホール ラポール <b>【講演Ⅰ】</b> 松尾 哲矢 氏 立教大学 スポーツウエルネス学部 教授 「プレイヤーズセンターの推進と指導者の役割」 <b>【講演Ⅱ】</b> 谷塚 哲 氏 東洋大学 健康スポーツ科学部 准教授 「スポーツ団体のリスクマネジメント」	306名

(4) スポーツ少年団育成事業

日本スポーツ少年団が掲げる「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」、「スポーツを通して、青少年のからだところを育てる」という理念に基づき、本会が設置する富山県スポーツ少年団において、地域社会全体で子どもたちを育て、将来にわたり健全な生活を送れるよう、各種事業を展開した。

① 組織の充実

ア. 組織の整備強化

(ア) スポーツ少年団指導者顕彰事業

期 日	会 場	受賞者数
令和8年2月23日(月・祝)	県総合体育センター	11名

イ. 活動の充実

(ア) 富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

期 日	実施競技	会 場	参加者数
令和7年6月7日(土) ～11月9日(日)	サッカー競技ほか 計12競技	富山市ほか 計6市1町	2,364名

(イ) 地域交流促進事業

期 日	開催地	実施スポーツ少年団	参加者数
令和7年8月2日(土) ～8月3日(日)	富山南総合運動公園	富山市	300名
令和7年8月2日(土) ～8月3日(日)	長野県千曲市 ほか	射水市	48名
令和7年8月21日(木) ～8月25日(月)	鹿児島県薩摩川内市 ほか	魚津市	32名
令和7年9月27日(土)	猿倉山森林公園芝生広場 ほか	富山市	43名
令和7年10月25日(土) ～10月26日(日)	滑川市立南部小学校	滑川市	267名
令和7年11月24日(月・振)	石川県金沢市スポーツ交流広場	南砺市	92名

(ウ) 母集団育成事業

期 日	実施スポーツ少年団	参加者数
令和7年11月22日(土) ～令和8年1月17日(土)	氷見市、上市町	77名

(エ) 富山県スポーツ少年団交流事業

期 日	実施内容	会 場	参加者数
令和7年12月21日(日)	ACP活動	富山県総合運動公園	60名

② 指導体制の整備

ア. 各種講習会・研修会

(ア) 第8回ジュニアスポーツフォーラム指導者全国研究大会

期 日	開催地	参加者数
令和7年6月15日(日)	東京都・オンライン	3名

(イ) 北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

期 日	開催地	参加者数
令和7年11月22日(土)	新潟県	5名

(ウ) 富山県スポーツ少年団指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和8年2月23日 (月・祝)	県総合体育センター 稲垣 和希 氏 筑波大学体育系 助教 「マルチスポーツとスポーツ少年団」 安岡 由恵 氏 公益財団法人日本パラスポーツ協会 「スポーツを通じたインクルーシブな 社会の実現とは？」	70名

イ. スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会

期 日	会場・内容	受講者数
令和7年10月1日(水) ～11月1日(土)	オンライン(動画視聴、確認テスト)	118名
令和7年11月29日(土)	県総合体育センター 集合学習 (講義総括、グループワーク)	

③ 交流活動の推進

ア. 国際交流の推進

日独スポーツ少年団同時交流

	第 52 回日独スポーツ少年団同時交流
	派遣事業
期日	7月30日(水)～8月14日(木)
会場地	ドイツ連邦共和国 南バーデン地方
人数	2名

イ. 全国的・地域的交流の推進

(ア) 全国交流大会・エンジョイ！スポーツフェスティバル

期 日	実施競技	開催地	参加者数
令和7年9月13日(土) ～9月15日(月・祝)	ホッケー	東京都	29名
令和7年12月25日(木) ～12月28日(日)	バレーボール	京都府	27名
令和8年3月27日(金) ～3月29日(日)	剣道	富山県	16名

(イ) 北信越ブロック交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
令和7年7月5日(土) ～10月26日(日)	軟式野球競技ほか 計5競技	長野県 石川県	98名

(5) 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会運営事業

令和7年度登録28クラブ、準登録2クラブ（令和7年4月1日～令和8年3月31日認定）が総合型地域スポーツクラブの公益性を地域社会に周知するとともに、地域課題の解決、各クラブの安定的な運営を目指し、各種事業を展開した。

① 組織の充実

地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業

期 日	視察先及び内容	参加者数
令和8年2月16日(月)	認定NPO法人日本スポーツアカデミー（茨城県） 「部活動地域展開による中学生年代への スポーツ環境整備」 NPO法人新町スポーツクラブ（群馬県） 「スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブの 連携・協働」	4名

② 交流活動の推進

とやま週イチスポーツ推進事業

期 日	実施クラブ	実施教室	参加者数
令和7年6月9日（月） ～令和8年1月26日（月）	NPO 法人ふちゅう スポーツクラブほか 計 14 クラブ	バランスボール教室ほか 計 22 教室	3,485 名 (延べ人数)

③ クラブ活動活性化の推進

富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会【再掲】

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和7年9月12日（金）	新湊アイシン軽金属スポーツセンター 名川 絢花 氏 株式会社ワールドリー・デザイン 講演 「広報活動の効果 UP へ ～写真・動画編～」	23 名
令和7年10月20日（月）	県総合体育センター 明石 あおい 氏 株式会社ワールドリー・デザイン 代表取締役 講演 「広報活動の効果 UP へ ～SNS・紙媒体編～」	29 名

(6) 県民スポーツ機会の創出事業（「Enjoy！スポーツとやま」の開催）

県民のスポーツ活動への参加を促進するため、体験型のスポーツイベントを開催し、日常的に運動やスポーツに取り組む機運や意欲を高め、県民が身近にスポーツに親しむ機会を創出した。

① 運動やスポーツに親しむ機会の提供

期 日	会場・内容・実施団体	参加者数
令和7年9月23日 (火・祝)	県総合運動公園 (屋内グラウンド、陸上競技場、ファミリー広場等) ①スポーツ教室：12 団体 16 教室 ②スポーツ体験：28 種目 ③プロモーター：1 社 ④サテライトブース：3 会場 ⑤その他（出店ブース等）：19 団体 総合型スポーツクラブ：8 クラブ 競技団体：9 団体 生涯スポーツ協議会：9 団体 障害者スポーツ協会：1 団体	7,612 名 (延べ人数)

(7) アスリート（中学生年代等）のスポーツ環境整備

生徒のスポーツ・文化芸術活動を学校部活動から地域クラブ活動に展開する「部活動の地域展開」における課題を共有し、実施していくために必要なことなどについて検討した。

① 情報交換会の開催

各市町村における部活動改革に伴う中学生年代のスポーツ環境の現状や課題等を、富山県教育委員会保健体育課、市町村体育スポーツ協会と情報共有し、施設利用や指導者確保、学校との関わり等、今後対応等について検討した。

期 日	会場・内容	参加者数
令和8年2月19日(木)	県総合体育センター 「中学生年代のスポーツ環境に関する 情報交換会」 〈参加者〉県教育委員会保健体育課 市町村体育・スポーツ協会 事務局ほか	16名

(8) 能登半島地震に関する被災地支援事業

(公財) ゴールドウイン西田東作スポーツ振興記念財団のスポーツ機会を維持することを目的とした助成事業により、スポーツ用品の購入について、2団体へ支援を行った。

2. スポーツ強化推進事業

国民スポーツ大会や全国大会等で優秀な成績を収めることは、県民に大きな夢と感動を与え、大きな活力となる。このことから、国民スポーツ大会をはじめ、全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指し、関係団体と連携を図りながら、合宿・遠征事業をはじめ各種強化事業を実施し競技力向上に努めた。

(1) 県民の競技力向上の推進

① 国民スポーツ大会等開催事業

ア. 第46回北信越国民スポーツ大会

第46回北信越国民スポーツ大会(富山県開催)は、31競技41会場で開催された。

(ア) 大会概要

会 期	早期開催 令和7年5月31日(土)～8月17日(日) 中心会期 令和7年8月22日(金)～24日(日)
開催地	富山県下10市2町 新潟県1市 石川県1市
実施競技	カヌー競技ほか 計31競技
参加人数	選手・監督727名 本部・顧問19名 計746名

(イ) 選手団等

品川祐一郎 団長ほか 計746名

第79回国民スポーツ大会本大会ブロック代表数 49代表獲得

イ. 第79回国民スポーツ大会

第79回国民スポーツ大会は、男女総合成績(天皇杯)は40位、女子総合成績(皇后杯)は36位であった。

また、第80回国民スポーツ大会冬季大会のスケート競技会・アイスホッケー競技会は青森県八戸市・三沢市、スキー競技会は青森県大鰐町、秋田県鹿角市で開催され、冬季大会終了時点で男女総合成績は22位である。

(ア) 大会概要

回	季		期 日	開催地	成 績
79	本 大 会	会期前	令和7年9月6日(土) ～9月25日(木)	滋賀県 〔自転車 京都府 ライフル射撃 大阪府 馬術 兵庫県〕	入賞数 62
		中心会期	令和7年9月28日(日) ～10月8日(水)		
80	冬 季 大 会	スケート・ アイスホッケー	令和8年1月31日(土) ～2月8日(日)	青森県 八戸市・三沢市	入賞数 3
		スキー	令和8年2月14日(土) ～2月17日(火)	青森県大鰐町 秋田県鹿角市	入賞数 9*

※競技別総合成績を含む

(イ) 選手団等

本大会 新田 八朗 団長ほか 計394名

冬季大会

・スケート・アイスホッケー競技会 田中洋一郎 団長ほか 計35名

・スキー競技会 井淵 信雄 団長ほか 計67名

② 競技力向上事業

ア. 国民スポーツ大会へ向けた選手強化

(ア) 合宿・遠征事業

強化指定選手等の強化を図るため、県内合宿・県外遠征・県外優秀チーム招へいを計画的に実施した。

(イ) 強化指定事業

選手指定：少年種別 37 競技 652 名 成年種別 41 競技 530 名 計 1,182 名

スタッフ指定：41 競技 総監督 22 名 各種別監督 118 名 コーチ 81 名 計 221 名

(ウ) アドバイザー・トレーナー招へい事業

7競技に7名のアドバイザー、20競技に24名のトレーナーを招へいし、強化練習会等で指導を受け、県内指導者の資質の向上と本県選手の競技力向上を図った。

(エ) 選手強化対策補助事業

国民スポーツ大会での上位入賞を目指し、競技団体ヒアリング等を通じて各競技団体の現状の把握に努め、効率よく強化事業が展開されるよう競技団体との連携を密にした。また、競技団体強化担当者が、各種全国大会等での競技力調査を実施し、本県の戦力分析や優秀選手の発掘に努めた。

イ. 将来に向けた優秀選手の育成

エリートユース育成事業

中学校運動部活動の地域展開を見据え、ジュニア年代の選手育成を図るため、新たに次年度以降に活躍が期待される中学生及び高校生を対象に、県内の優秀指導者による県内合宿及び県外遠征等を実施し、効果的な選手育成・強化を図った。

内 容	競技数	参加者数
合宿・遠征等	スケート競技ほか 計 29 競技	879 名

③ 未来のアスリート発掘事業

スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材育成のサポートを行った。また、特別プログラムとして味の素ナショナルトレーニングセンター等の視察事業を実施した。

ア. 20 期生 50 名 (小学 6 年生) とジュニア指定 10 名 (小学 5 年生) (令和 7 年 4 月指定)

(ア) 育成プログラムの実施

	実 施 内 容	実施回数	会 場
身体能力育成プログラム	「コーディネーショントレーニング」 (一社) コーチングバリュー協会 東根 明人 氏 横尾エルマ 氏 大羽瑠美子 氏 (特非) 笑顔スポーツ学園 小川 耕平 氏	3 回 1 回 (2 回) 1 回	県総合体育センター 山野スポーツセンター
	「コンディショニング」 (公財) 富山県スポーツ協会 山地 延佳 氏 県西部体育センター 宮島 秋子 氏	3 回 1 回	
	「ファルトレクトレーニング」 (公財) 富山県スポーツ協会 柿谷 朱実 氏	3 回	
知的能力育成プログラム	「メンタルトレーニング」 奈良教育大学 岡澤 祥訓 氏	5 回 (1 回)	
	「スポーツ栄養」 日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 舘川美貴子 氏	3 回 (1 回)	
	「スポーツ障害」 富山労災病院 山上 亨 氏	1 回	
	「コンディショニングづくり」 女性クリニック We 富山 鮫島 梓 氏	(1 回)	
	「コミュニケーション」 (株)プロジェクトアトベンチャー・ジャパン 難波 克己 氏	1 回	
	「スポーツ講演会」 (株)カターレ富山 佐々木 陽次 氏 (サッカー競技)	1 回	

※実施回数欄の ( ) 書きは保護者向けプログラム

(イ) 特別プログラム

味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）視察事業（東京都）

期日：令和7年11月22日（土）

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター ほか

内容：味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）の見学

NTC職員による「アスリート育成パスウェイ・NTC施設紹介」の講義

日本オリンピックミュージアム、国立競技場（プロスポーツ観戦含む）の見学

人数：20期生・ジュニア指定者 46名（男子23名・女子23名）

イ. 21期生55名（令和7年度5年生）とジュニア指定者6名（令和7年度4年生）

21期生は、令和8年4月からプログラムを開始する計画で、募集選考を行った。ジュニア指定者については、競技団体からの推薦を受けた児童について書類選考を行った。

実施内容	実施日	会場
第1回企画委員会	令和7年6月13日（金）	県総合体育センター
競技団体説明会	令和7年9月18日（木）	
第2回企画委員会（1次選考）	令和7年12月18日（木）	
測定会（2次選考に向けた）	令和8年1月6日（火）	
第3回企画委員会（2次選考）	令和8年1月21日（水）	
体力測定・オリエンテーション	令和8年2月22日（日）	
第4回企画委員会	令和8年3月24日（火）	

ウ. 奨励賞受賞者の選考

1期生から19期生の修了生を対象に、各種スポーツ大会で活躍し、その功績が顕著と認められた5名を選考した。

エ. 修了生サポートプログラム

・体力測定2回（8月・2月） 132名

・講習1回 1月17日（土）28名

講習「正しいトレーニング動作を身につけさらに競技力アップを目指そう」

講師：（公財）富山県スポーツ協会 山地 延佳 氏

特別講座「私とノート ～勝ちと価値～」

講師：2016 リオデジャネイロオリンピック柔道女子70kg級金メダリスト

田知本 遥 氏

オ. 修了生活躍状況の掲示

県総合体育センター正面入口横にボードを設置し、修了生の活躍状況を掲示した。

※現在 20 期生まで累計 1,264 名（うち 日の丸をつけた選手 94 名）

④ 競技スポーツ振興事業

小学生、中学生を対象に、スポーツ教室、記録会及び練習会を実施し、競技スポーツに対する興味・関心を高めることにより、競技スポーツ人口の拡大を図った。

内 容	競技数	参加者数
記録・練習会	スケート競技ほか 計 34 競技	11,107 名
教 室	スキー 競技ほか 計 18 競技	7,253 名

⑤ TOYAMAアスリートマルチサポート事業

本県競技力の一層の向上を目指し、選手の発育・発達段階に応じた適切で、より効果的な医・科学的サポートを実施するとともに、県総合体育センター、県西部体育センター及び県高岡総合プールと連携し、選手へのサポート体制のさらなる拡充に努めた。さらに、組織体制の強化を目的に、事務局を本部及び県総合体育センターで共同運営体制とすることにより、監督はじめコーチ・スポーツドクター・トレーナー等との連携を緊密にし、個々の選手の体力測定結果等に基づくスポーツ医・科学的サポートを積極的に展開した。また、県総合体育センターが日本スポーツ振興センターからHPSC（ハイパフォーマンススポーツセンター）ネットワーク機関（アスリート支援：体力測定）に指定（令和4年10月26日～令和10年3月31日）されており、資格を保有している本会の指導員がHPSCパッケージ「姿勢チェック（FAAB）」サポート・スペシャリストとしての認定を受けた。

ア. 委員会等の開催

会議名	期 日	実施内容
委員会	令和7年4月25日（金）	R6事業報告 R7事業計画（書面審議）
	令和8年2月20日（金）	R7事業の総括及び課題について
スタッフ ミーティング	令和7年9月13日（土）	競技団体の取組みについて情報交換
	令和8年1月24日（土）	コンディショニングについて

イ. サポート内容

区 分	主な内容	人数・日数等
医・科学的サポート	トレーニング・測定サポート 栄養サポート メンタルサポート アンチ・ドーピング研修 ほか	34 競技 計 687 名
サポートスタッフ 中央講師の派遣	北信越国民スポーツ大会、国民スポーツ大会、 JOC 大会へのスタッフ派遣	12 競技 94 日

ウ. スポーツ医・科学調査、研究

期 日	内容（会場）	参加者
令和7年7月25日（金）	HPSC 地域連携事業 HPSC パッケージ「姿勢チェック（FAAB）」 サポート・スペシャリスト研修 （県総合体育センター）	専門員6名
令和7年8月20日（水）	HPSC 地域連携事業測定視察（山梨学院大学）	専門員3名
令和8年3月6日（金）	JISS 体力測定情報共有会 2026（東京都）	専門員2名

⑥ スポーツ医・科学研修会等開催事業

ア. アンチ・ドーピング教育・啓発

国民スポーツ大会選手を中心としたアンチ・ドーピング教育及び啓発活動の実施を通して薬物乱用や誤用の認識を高めるため、強化指定選手、指導者及び保護者等を対象として、富山県薬剤師会所属のスポーツファーマシストによる講習会を県総合体育センターほか計6会場で開催し、健全なスポーツ活動を推進した。

期 日	競技団体	講 師	参加者数
令和7年7月5日（土）	軟式野球連盟	濱田朱美子 氏	36名
令和7年7月16日（水）	ハンドボール協会	今村 理佐 氏	21名
令和7年8月2日（土）	柔道連盟	藤岡俊太郎 氏	20名
令和7年8月9日（土）	クレー射撃協会	藤森 毅至 氏	11名
令和7年8月12日（火）	バスケットボール協会	宮林 紀子 氏	13名
令和7年12月6日（土）	ソフトボール協会	小池 淳平 氏	79名

イ. 問診票による健康診断

県スポーツ協会が指定する強化指定選手及び国民スポーツ大会選手 1,268名に対し、問診票による健康状態調査を実施した。女性アスリートには、女性アスリート用の問診票も活用している。

⑦ 全国的大会等開催助成事業

全国的・国際的の大会や日本リーグ等レベルの高い大会への開催運営費を補助した。

実施期間	令和7年6月～令和8年3月
実施競技	スポーツエアロビック 2025 富山オープンほか 計12大会

⑧ 海外派遣選手激励事業

スポーツをする選手たちに夢と希望をあたえるとともに、スポーツ人口の拡大に繋げることを目的に、国際大会へ日本を代表として出場する選手・監督に激励金を交付した。

国際大会	助成大会	ミラノ・コルティナオリンピックほか 計 12 大会
	派遣人数	22 名
	派遣先	イタリアほか 計 8 ヶ国

⑨ スポーツ国際交流事業

韓国江原特別自治道体育会から 2 名、江原特別自治道庁から 1 名が来県され、今後の本県と江原特別自治道とのスポーツ交流について情報交換を行った。

⑩ ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック特別対策事業

オリンピック代表に 2 名が選ばれ、本県選手の関係競技団体等が行う現地激励や競技力調査等に対して支援を行った。

さらに、選手の写真付きバナーを県総合体育センターエントランスに展示し、県民のオリンピックへの機運醸成に努めた。

### 3. スポーツ施設を活用した各種事業と効率的な管理運営

県民一人ひとりがスポーツに親しめる環境を整えるため、県総合体育センターをはじめとするスポーツ施設の充実を図った。また、「富山県スポーツ推進プラン」で掲げるウェルビーイングの向上を目指し、各ライフステージや個々の興味・関心・適性に応じて生涯にわたりスポーツを楽しめる社会の実現に向け、各種事業を実施した。

(1) スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営

① スポーツ施設管理運営事業

施設管理業務とスポーツ振興のソフト事業を一体的に推進するとともに、効果的かつ効率的なサービスの提供に努めた。また、市町村教育委員会と連携した小学校の水泳教室の開催やスポーツ人口の拡充を図るため、スポーツの日に「スポーツフェスティバル」を開催するなど、利用者のニーズに合わせた管理運営を実施した。

令和 7 年 10 月には、令和 8 年からの指定管理者の申請を行い、新たに 3 年間、指定管理者に選定された。

指定管理する県営体育施設の利用人数は、506,420 名と前年度比、約 7.4%増加した。

ア. 県営体育施設

施設名	利用人数	施設名	利用人数
県総合体育センター	253,345 名	県西部体育センター	129,262 名
県高岡総合プール	92,565 名	県営富山弓道場	15,278 名
県漕艇場	12,834 名	県上市カヌー競技場	3,136 名
計	506,420 名 (107.4%)		

※ ( ) 書きは対前年比

イ. 県スポ協スポーツ施設

施設名	利用人数	施設名	利用人数
アオイスportsハウストレーニング場	8,731名	山野Sportsセンター	4,591名
屋内相撲練習場	890名		
計		14,212名 (113.7%)	

※ ( ) 書きは対前年比

(2) スポーツ教室開催事業

スポーツを楽しむ、健康づくりを支援する教室を開催するとともに、競技団体と連携し、中学校部活動の地域展開に対応した体験会や子育て世代を対象とした親子教室など各種教室を開催した。

また、漕艇場、カヌー場では体験会で競技の指導も行い、競技を始めるきっかけづくりや普及促進にも取り組んだ。

スポーツ教室等開催事業の実施状況

施設名	教室	実施回数	延べ受講者数
県総合体育センター	親子チャレンジほか 計3教室	42回	725名
県西部体育センター	Enjoyバドミントンほか 計4教室	69回	566名
県高岡総合プール	初級スイムほか 計57教室	1,544回	20,525名
県営富山弓道場	弓道教室	92回	1,266名
県漕艇場	タイムトライアル体験会	2回	222名
県上市カヌー競技場	カヌー体験教室	10回	158名
計		1,759回	23,462名

Ⅲ 収益目的事業

本会が管理運営する県総合体育センターほか5施設に自動販売機を設置し、飲料等を提供した。

また、本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業として、日頃スポーツに親しみのない県民がスポーツ施設を知っていただくことで、今後のスポーツ活動に拍車をかけるとともに、個々の体力に応じてスポーツに親しむ契機になることを期待し、管理運営するスポーツ施設の会議室等を公益目的事業以外で貸与した。